

令和7年度援護関係予算概算要求の主要事項

計数は令和7年度概算要求額、（ ）内は令和6年度当初予算額。
四捨五入しているため、各欄の増減が一致しない場合がある。計数にはデジタル庁計上分を含む。

令和7年度予算概算要求 188億円（177億円） うち戦後80周年関係 20億円（13億円）

1 援護年金 27億円（29億円）

受給人員 1,792人 → 1,484人

2 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金等の支給（事務費）13億円（8.0億円）

支給対象件数

・戦没者等の遺族に対する特別弔慰金 約60万人

3 遺骨収集事業等の推進 34億円（33億円）

(1) 遺骨収集事業

ア 硫黄島における遺骨収集事業（※）	13億円	（15億円）
イ 海外等における遺骨収集事業	11億円	（9.6億円）
ウ 法人運営経費	1.6億円	（1.6億円）

(2) 海外公文書館の資料収集 19百万円（17百万円）

(3) 遺骨の鑑定

ア 手掛かり情報のない戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定	3.4億円	（2.4億円）
イ 戦没者遺骨の鑑定技術の研究・実用化検討	3.2億円	（2.8億円）
ウ 分析施設（ラボ）における鑑定実施	1.5億円	（1.4億円）
エ 会議開催経費・事務費等	6百万円	（6百万円）

(4) 遺骨・遺留品の伝達 51百万円（34百万円）

（※）この他、プレキャスト版を使用し、滑走路の補修を行う実証実験を実施。
（防衛省事業 令和7年度概算要求額10億円）

4 戦没者慰霊事業等 9.1億円（6.6億円）

(1) 全国戦没者追悼式挙行経費	2.1億円	（2.0億円）
(2) 慰霊巡拝等		
ア 慰霊巡拝	1.3億円	（1.0億円）
イ 政府建立慰霊碑の補修等	59百万円	（53百万円）
ウ 海外・国内民間慰霊碑の調査・移設等		
・海外・国内民間建立慰霊碑調査等	41百万円	（10百万円）
・国内民間建立慰霊碑の移設等（自治体補助）	18百万円	（9百万円）
エ 慰霊友好親善事業	3.9億円	（2.6億円）
オ 平和の語り部事業	55百万円	（25百万円）

5 昭和館・しょうけい館等事業 12億円（6.5億円）

(1) 昭和館		
ア 運営経費・事業経費	4.9億円	（4.6億円）
イ 昭和館施設整備経費	4.8億円	（0億円）
(2) しょうけい館	2.0億円	（1.8億円）

6 中国残留邦人の援護等 91億円（92億円）

(1) 中国残留邦人等に対する支援等		
ア 支援給付の実施等	90億円	（90億円）
イ 中国残留邦人等の介護に係る環境整備	42百万円	（41百万円）
(2) 抑留者関係資料の取得及び特定作業関係	1.0億円	（1.1億円）
(3) 戦没者等援護関係資料の移管・整備	43百万円	（47百万円）